

うちの実家が浄土真宗で、僕が子どもの頃、父方の祖母がよくお経を読んでいました。なんとなく覚えているのが、蓮如上人の『白骨の章』の一節です。

「我や先、人や先、今日とも知らず、明日とも知らず、おくれ先だつ人は、もとの雫・末の露よりも繁しといへり。されば、朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり。すでに無常の風来たぬれば、すなわ

ち二の眼たちまちに閉じ、一の息ながく絶えぬれば、紅顔むなしく変じて〜（以下略）」

私も3、4回お経を読んだことがありますが、「門前の小僧習わぬ経を読む」で、「南無阿弥陀仏」を拍子をつけて読むので、それをまねると上手に読めます。（笑）

人は年齢に関係なく、若い者、子どもが死ぬこともある。朝は顔色も良く元気であっても、その日のうちに亡くなることもあ



医界サロン

朝には紅顔ありて 夕には白骨となれる身なり

広報委員 佐野 博彦

るのを知りました。昨年、私の弟が頭頸部がんで59歳で亡くなりました。父は現在90歳、母は88歳で存命です。弟の病気のことをほとんど知らなかった母は号泣し、僕はそれを見て号泣しました。

ところで、新型コロナウイルスについては、私は現在62歳ですが、高血圧、高脂血症、肥満もあり、頸椎症もあって、薬を1日20錠くらい飲んでます。やはり、もし感染したら死もあり得るといつも思います。たとえワクチンによって死亡率が下がったとしても、明確な治療薬のあるインフルエンザと比べれば、感染すると不安だだと思います。発熱後数日以内に自宅でお亡くなりになる方もおられますし、40歳代、50歳代くらいでも亡くなることもありま

す。

まさに「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり」ということが現実にあるんだなと思います。21世紀になって、豊かな社会になったはずですが、人の行き来が激しいために、あっという間にパンデミックになってしまいました。治療もワクチンも大切ですが、できれば感染せずにはすめばありがたいと思います。自宅に引きこもるだけではなく、「一日一生」の気持ちで自分なりに活動する。ちょうど朝、昼、夜があることで毎日を完結して生きることができます。メメント・モリ、常に死を意識して生きること、その方がかえって元気で生活できると思います。失ったものではなく、あるものを数えることです。